

## 1

## 生涯学習の推進と学習拠点の整備

## 現状と課題

住民一人ひとりが、生涯にわたっていきがいと自己実現を求め、「いつでも」「どこでも」「だれでも」自発的・主体的に学習することができるよう、生涯の各時期に対応した学習機会を提供するとともに、その成果が社会の中で適切に評価される豊かな生涯学習社会を築いていくことが求められています。

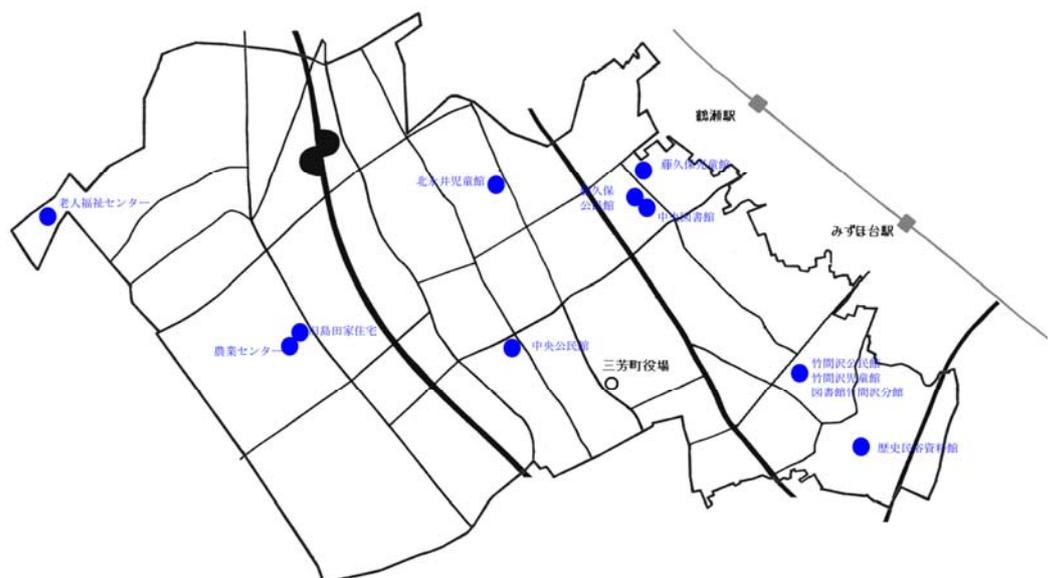
町では、公民館・図書館・歴史民俗資料館・地区集会所などが住民の学習の場として幅広く利用されています。しかし、これらの施設の多くは、生涯学習施設として必ずしも十分な機能を備えたものではないため、時代の要請に応えられる学習環境の見直しが必要となっています。

図書館については、利用者の特性に応じたきめ細かなサービスを提供し、新たな利用者のニーズに応えるには専門職員の体制が十分とは言えず、施設面で蔵書スペースの問題や図書館から遠い地域へのサービスなどが課題となっています。

公民館については、現在、中央・藤久保・竹間沢の3館がありますが、時代のニーズに合った生涯学習施設の管理運営とサービスの向上を図るために、施設・組織・体制の集中強化と職員・指導者の資質向上を図っていくことが必要です。

今後、住民の日常的・主体的な学習活動を定着させるためには、新たな生涯学習施設の整備や既存施設の機能充実を図るとともに、行政の関係部署のネットワーク化や各種団体等との連携を促進し、推進体制の整備充実を図ることが望めます。

【主な生涯学習関連施設】



## 今後の施策

### ①生涯学習ネットワークの形成

より多くの住民が気軽に生涯学習に取り組めるよう学習情報の収集・提供の充実を図ります。また、指導者の確保・育成に努めるとともに、関係機関や団体との連携を図り、町内の生涯学習ネットワークづくりを進めます。

### ②生涯学習施設の整備・充実

活発化する住民活動に対応するため、柔軟な発想で既存施設の有効活用を進めるとともに、住民ニーズに応える生涯学習拠点施設の整備と機能的な連携やその特徴を活かした施設の充実に努めます。

### ③生涯学習推進のための環境整備

生涯学習を担う公民館などの身近な学習施設を計画的に整備し、その機能を充実させることにより、多くの人々が学習活動に参加し、成果を地域に活かすことのできる環境を整えていきます。また、住民の学習ニーズに対応できる総合的な相談体制を充実させるとともに、インターネット等を利用した学習情報の提供など、情報システムの整備を進めます。

### ④図書館サービスの向上

利用者の特性や多様で専門的なニーズに対応できるよう図書館司書を配置・育成し専門性の向上を図るとともに、蔵書の充実に努めます。また、地域のすみずみまで図書館サービスが均質に行きわたるように検討を進めます。



▲藤久保文化行政ゾーン

## 現状と課題

町では、公民館を中心としてさまざまな社会教育活動を支援し、住民の学習ニーズに応えるための条件整備に努めてきました。さらに、公民館利用者のつどいをはじめ、活動をより豊かにしていくための学習会や意見交換会等を通じて、活動団体のネットワークづくりも支援しています。また、「生涯学習情報誌」を発行するなど、活動情報の提供を行っています。しかしながら、活動参加者の固定化・高齢化がみられるなど、今後新たな参加者の掘り起こしが必要となっています。

図書館は、開館以来高い利用状況となっており、県内図書館との資料の相互提供や近隣市の図書館との相互利用によって、利用者の利便性の向上を図ってきました。また、読書推奨活動の促進に向けたボランティアの育成やグループづくりなど、住民の主体的な活動を支援しています。

今後は、より地域の特性を活かした社会教育活動が展開されるよう、また、学習活動の成果が地域社会やまちづくりに活かせるようなしくみの構築が必要となっています。

こうした、住民の主体的な社会教育活動を支援しながら、地域リーダーなどの人づくりを進め、学習や活動をお互いに高めあえるような住民ネットワークの構築を進めることが求められています。



## 今後の施策

### ①住民の主体的な学習活動の支援

住民の主体的な学習活動を支援し、「学びあい」「つながりあい」の過程を大切にしながら、団体やサークル等が開放的な活動となるような環境づくりや活動の活性化を図ります。

### ②家庭・地域の教育力の充実支援

家庭教育講座や地域活動の推進により家庭や地域における教育力の向上に努めます。また、子育て中の家庭が地域とつながり、人と人との輪を広げるため、地域の子育てサークルのネットワークづくりを支援します。



### ③読書推進活動のネットワークづくり

読書推進活動に携わるグループが自主的に、いきいきと活動できるような支援に努めます。また、グループ間のネットワークづくりを促進し、各々が主体的に活動し、情報交換や技術の向上を図る環境づくりを進めます。

### ④社会教育活動団体等のネットワークづくり

個々のサークルや社会教育関係団体、まちづくり団体などのさまざまな活動団体が交流・連携することによって、活動がより豊かになり、互いを高めあえるような住民ネットワークづくりを支援します。また、リーダーの育成はもとより、活動の成果がまちづくりに活かせるしくみづくりを進めます。

## 3

## 社会教育プログラムの開発と学習機会の拡充

## 現状と課題

町では、各社会教育施設において、年齢層に応じた事業や生活課題・地域課題に根ざした講座など、住民の多種多様な学習機会の提供に努めてきました。今後さらに多様化・高度化する学習ニーズに応えるためには、行政の関係各課のみならず、教育機関・大学等研究機関・民間企業などの専門的な知識や技術、経験を活用した学習プログラムの開発へ向け、積極的な研究が必要になります。

そのためには、地域のくらしの課題の把握に努めるとともに、住民の学習を側面から指導・支援する人材を発掘することが必要です。また、教育日よりや町ホームページによる学習情報の充実や人材情報の一元化を図るなど、住民の主体的な学習や研究に効果的に活用できるようなシステムづくりも求められます。

図書館では、町内学校図書館教育主任・学校図書館司書との連絡会や町内児童施設職員との学習会等を開催し、技術の向上を図ってきました。今後、さらに住民の学習活動を支援・促進するための積極的な取り組みが望まれます。

一方、急激な社会構造の変化に伴い、家庭や地域の教育力の低下が要因とされる青少年の非行等の問題が生じています。町では、地域で子どもを育てる環境を充実させるため、体験学習や体験活動を実施してきました。今後さらに事業を充実させるとともに、学校・家庭・地域・民間との連携により、活動の場や機会を積極的に提供していくことが求められています。同時に、すべての教育の出発点である家庭での教育について、個々の家庭だけに問題解決を委ねるのではなく、社会全体の問題として、その教育力の向上を積極的に支援することが必要になっています。



## 今後の施策

### ①多様な学習機会の創設

乳幼児期から高齢期までの生涯の各時期に応じた学習課題に関する学習機会の充実を図ります。また、NPOや大学等研究機関、地域産業などの専門的知識・技術を活用しつつ、少子高齢化、情報化、環境問題、人権問題など社会の変化に伴う現代的課題に対応した社会教育プログラムを開発し、提供していきます。

### ②学習情報システムの構築

町の関係各課、教育機関や民間企業等の人材や学習内容などの情報の一元化を図り、学習情報システムの構築をめざします。

### ③図書を活用した学習機会の拡充

住民が興味や関心をもった事柄を調べたり、学習することを支援するとともに、講座の開催や資料展示等により学習機会の拡充を図ります。また、子どもが多くの本に触れ、興味を広げて自ら学習する姿勢を身につけることができるよう、学校図書館教育主任・学校図書館司書との連絡会や児童施設職員との学習会等を通じて、手法や事業内容の検討を行い、読書を通じた学習機会の拡充を図ります。

### ④住民の読書推進活動への支援

読書推進活動に興味のある住民がいきがいをもって取り組めるよう、相談窓口機能を充実するとともに学習活動を支援し、読書ボランティア育成のための講座やプログラムの開発を進めます。

### ⑤青少年育成活動の推進

学校・家庭・地域との連携により、活動の場や機会を積極的に提供し地域全体で青少年の健全育成活動を進めます。また、地域に青少年の居場所を確保するとともに、青少年の体験学習の機会を拡充します。

